

神奈川県演劇連盟機関誌

# ドラマ神奈川

第8号

# グラフティ県連

横浜アマチュア演劇連盟所属  
5劇団の空前のバトルプレイが  
今、はじまる

## 公演スケジュール

横浜アマ連合同公演 9/28(土)PM  
2:00&6:30 29(日)PM2:00 テア  
トルフォンテ 大橋泰彦/作 濱田  
重行/演出『ゴジラ』

劇★派事ム所 10/10(休)7:00, 11  
(金) 10, 12(土)2:00&7:00, 13(日)  
2:00&6:30 相鉄本多劇場 祭山  
寸花/作・出『瞬く人々』

劇団蒼い群 10/12(土)6:30, 13(日)  
1:30 横須賀青少年会館 松沢佳  
子/作, 河崎益通/演出『生きて想い  
をさしようより』お夏西鶴顛末記

劇団こゆるぎ座 10/26(土)6:00  
27(日)1:00 小田原市民会館 後  
藤翔如/作『いろはにほへと』

ドラマ神奈川テント劇場ラリー  
11/2~3 劇団麦の会及び劇団横浜  
にゅうくりあ、G/9プロジェクト  
合同公演 11/4県演劇連盟プロ  
デュース公演(詳細は事務局へ)

劇団河童座 11/16(土)6:00 17(日)  
1:00 横須賀青少年会館 11/30(土)  
2:00&7:00 12/1(日)2:00 相鉄本  
多劇場 横田和弘/作・演出『平成  
火の鳥伝説』

劇団かに座 11/22(金)7:00, 23(土)  
2:00&7:00 24(日)2:00 相鉄本多  
劇場 ジャン・ラシーヌ作 内藤  
濯/『フードル』

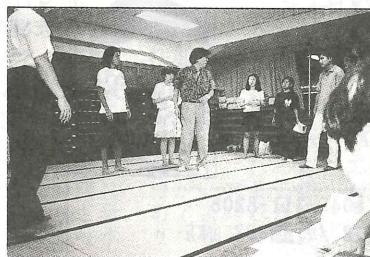
横浜にゅうくりあ 11/23(土) 1:  
00&5:00 横須賀青少年会館『モ  
ノローグの可能性 PART II』

劇団LA TERRA 11/23(土)  
1:30 茅ヶ崎市文化会館小ホール  
ミュージカル『森と空と少女と』  
川崎演劇塾 12/6(金)7:00 7(土)  
2:00, 7:00 8(日)2:00 相鉄本多  
劇場 津田英三/作『大地から、  
そして太陽へ』

プロジェクト夢樹 12/7(土)7:00  
8(日)1:00 横須賀青少年会館 別  
役実/作 吉本敏克/演出『この道は  
いつか来た道』

横浜にゅうくりあ 12/14(土)15  
(日)相鉄本多劇場 泉谷涉/作・演出  
『横浜スタジアムの青春No.2』  
劇団蒼生樹 12/20(金)7:00, 21(土)  
2:00&6:00, 22(日)2:00 教育文化  
ホール 吉永仁郎/作『季節はずれ  
の長屋の花見』

G/9プロジェクト 12/21~23  
S Tスポット『ミスキャスト'96』



## ドラマ神奈川・テント劇場ラリー

### 【花組】 いよいよスタート

神奈川県演劇連盟の初ブ  
ロデュース公演の準備が始  
まりました。一般公募によ  
る初顔合わせが8月16日県  
サポートセンターにて行わ

れました。  
中心の劇団は「劇★派事  
ム所」作、演出に祭山氏。  
参加者の顔ぶれは厚木・川  
崎・横須賀・三浦・鎌倉・



○横浜アマチュア演劇連盟  
所属5劇団の精銳たちが  
フォンティに集結。空前の  
バトルプレイが今…はじ  
まる。

○「各劇団もちより一幕も  
の一挙上演」から「2劇  
団合同公演2本立て」を  
経て、ついに5劇団合  
同公演が開催される。演劇  
論、方法論の異なる劇団  
が創り上げる舞台に熱い  
期待がもたれている。

○顔合わせから1ヶ月。キ  
ャストもスタッフも決ま  
り、今、まさに走り出  
したところ。出演者は初顔  
合わせということもあり、  
まだまだお互いに遠慮が  
みられ、本領を發揮しき  
れていない様子。演出の  
濱田氏のカツがとぶ。「  
もっと意気込みをみせろ。  
合同公演の意味がない」  
この演出のエネルギーに  
役者が爆発する日も、も  
う近い。

○アトルフォンテの広い  
舞台で動きまわれるし、  
装置等いろいろ工夫がで  
きるので、面白い舞台空  
間が生まれそう。スタッフ  
総勢60名に見守られ、  
本番をあと、1ヶ月後に迎  
える。全ての役まわりで各  
劇団の個性と個性が  
ぶつかりあい、活力ある  
舞台を成功させてほしい。

○題目も各劇団の点数性で  
決定等、5劇団の意志を  
重視してのスタート。

横浜と広域。フリーもいれ  
ば劇団所属もいる、魅力あ  
る人材が顔をそろえました  
がちょっと男性不足。テント  
劇場を考えるとまだだ  
メンバー不足しています。  
新しいチャレンジが出来る  
「花組」にあなたも参加しま  
せんか。連盟では二次募集  
も始めました。

祭山氏談話。「テーマは、  
宮澤賢治を中心に置きなが  
ら、現代の社会に圧迫され  
てしまう感受性豊かな人々の  
励ましになるような芝居  
ができるべ…、ワークシ  
ョップを続けながら作り上  
げるつもり」。期待して下さ  
い。

# 座長・代表・責任者

## 交流の広場

日頃苦労の多いあの顔が、心の内を初公開

- ①今最近みて感動した映画
- ②今大好きな本
- ③今好きな画家
- ④今エキサイトするのはどんな時ですか
- ⑤今そして…やりたい芝居は？

- ① フィラデルフィア (ちょっと前になまはが…)
- ② カコの選択 (UFOを見たのは17年前の事)
- ③ ダーリ (<れい>詰はなが: 好きごす)
- ④ 頭髪の話題にハマッタ時?
- ⑤ 対象観客層のいい作品。もしくは  
しほり込んだ作品…等。



劇団かに座 8045-311-5682  
220・横浜市西区岡野町1-3-14 田辺方

- ① GAMMA月桃の花…沖縄戦貌を描いた作品
- ② 燐えよ剣…ご存知「司馬遼」わずか100年  
前にも本当にこのような命と捨てて  
まで天下国家に奔走した集団がいたのか  
と思うと、心痛の極です。
- ③ 五女生田義松 (ごせだよはつ)  
…明治の宮廷画家といわれ、実に  
至密で美しい具像画を描きます
- ④ いつも。(5) 「にんじん」コレナール。  
「うしろ妻のいじられてゆくか。」



劇団着い君羊 80468-56-3157  
238・横須賀市佐野町6-41 福本方

- ①TVでしか観ませんが、最近では追悼番組の「男  
はつらいよ」
- ②横浜演劇研究所発行の「日本戯曲総目録」を愛  
用しています。
- ③青木 繁(「わだつみのいろこの宮」が大好きです)
- ④舞台稽古の時 (このごろ年のせい  
でしょうか、テンションが上がり、  
エキサイトし難くなっています)
- ⑤老若男女誰にも心から笑ってもらえ  
る喜劇



横浜小劇場 8045-261-4866

231・横浜市中区福富町西通り52 横浜演劇研究所内

- ① なし、観る時間なし、観る時間あれだけ  
芝居を観る。
- ② なし、ふえてまえば: マンガ、  
~ドラマがある~
- ③ なし
- ④ 心に響く芝居を観たとき  
~この頃下さいが~
- ⑤ 書きました! 田辺晴通



劇団かに座 8045-311-5682  
220・横浜市西区岡野町1-3-14 田辺方

大好きな本といいますと「四季の味」という料理の季刊誌です。料理は、頭の切り替えにもなりますし、発想を助けてくれます。料理も芝居の演出と同じです。特に懐石料理の、発想の柔軟さ、あらゆるもの素材を活かしながら美的に表現する。まるで造形と絵画を合わせて鑑賞しているみたいです。

エキサイトするとき? やっぱり稽古じゃないで  
すか。一日稽古すると、声は嗄れる、汗だく。いま横浜演劇祭の稽古の真っ最中。汗かいてます。

やりたい芝居? 長谷川伸作品の連続上演をして  
みたいですね。どうも男性が多く出るので、自劇  
団だけでは実現が難しい――。

劇団蒼生樹 濱田 重行



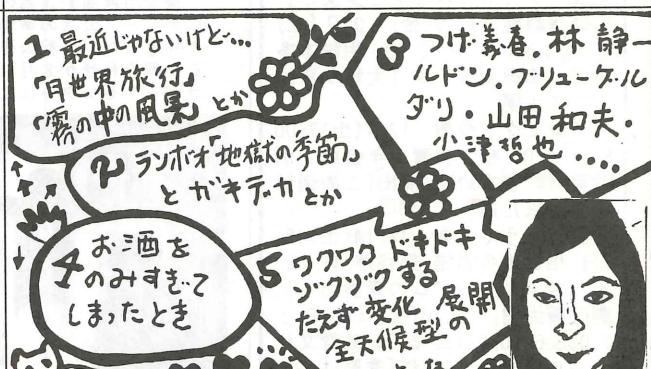
劇団蒼生樹 8045-242-3584  
220・横浜市西区伊勢町3-133-824 濱田方

- ① 最近映画は見ない。ビデオ、ラジオ、書の「見にいく」
- ② ハペペラギョウ 朝太年3年のみの江一吾の夢
- ③ やつぱり ハイアーレーベル
- ④ 人の意見を省かない奴のいとひ
- ⑤ 人情劇 又想ひ春

化粧 城谷護



京浜協同劇団 8044-511-4951  
211・川崎市幸区古市場2-109



劇★派事務戸所 80468-27-1631  
238・横須賀市大滝町1-30 2-仙王M4FA4



- シンドラーのリスト、友達の家はどこ(行方不明)
- 人間の絆(モード)、山本周五郎の作品。
- モジリーニー。
- ターン最近おけりな“ナホ”。
- 「ハツカネズミと人間」みてねモード

川崎演劇塾 8044-951-9819  
214・川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12-504 梶原



① 「2モンキーズ」 ヒロアズ・サイキン 見たモノです……	② 開口一番 (ハコエレアリスガマス)
④ 夜中にゴキブリと 聞こえてるとき。 だれも思ひつかない 妙なもの。	③ ハハハですか…… 決められません
	⑤

G/9プロジェクト ☎ 045-716-5279  
〒232 横浜市南区南太田4-38-27 喜楽荘106号

- 映画はあまり観ませんが“あえて記せば”  
「藏書」かな
- 少年時代に良く読んだ少女小説
- 15年前上演した「女の人」以来だから  
後の絵と生活史
- 「イス・バイ・ケイス
- 素晴らしい感動力に身振  
いする(させてくれる)作品



劇団こゆるぎ座 80465-22-2988  
250・小田原市本町2-2-20 梅月食堂内

- ハイバル映画・小津作品「晚春」原節子の痴娘。
- 高橋治作「さよなら露の恋歌」
- シヤガール。
- 自分の場合も他人につれて、お互いに集めか  
を思はず。
- ノートン・ワイルダー作「わが町」



劇団麦の会 8045-241-2828  
220・横浜市西区伊勢町1-61 高津方

- 耳をすませば。サブリナ
- 青い城(L.M.モンゴメリー)
- ゴッホ。片岡珠子

夢中に行動している時

- ほほえみの国、真夏の夜の夢  
ラストサウンドストリー

湘南ミュージカルシアター 80467-85-4313  
253・茅ヶ崎市ひばりが丘1-10 前田方



- 「3ことごと」(ホランスキー)
- 「山の音」(川端康成)
- エゴン・ラーゲイー・グレーフ・ホーリーの「ライント
- 夏の甲子園、高校野球の  
決勝戦と、決して満足の場面
- 白黒映画のような切れ味、こじつけたり  
一性を持った作品(はずかしい...)



劇団横浜にゅうくりあ 8045-321-1920  
220・横浜市西区中央1-30-17

- ア・ヌーブルメン
- 阿部公房、筒井康隆、P・コニウェル
- 裸うきぬ シヤガール (最近では...)
- スポーツを123時観て3時
- .....



劇団河童座 80468-23-7443  
〒238 横須賀市日の出町2-6

- カサブランカ
- 特になし
- ゴッホ
- ゲネプロの時
- 作家といえば、清水邦夫

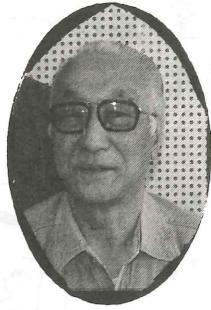


劇団夢樹 80468-66-4013  
〒239 横須賀市大津町4-43 (☎ 0468-36-7494) 代表 吉本敏克

# 特集

# 私たち こう

# 市民演劇 とは



# 劇団麦の会

高津一郎

私は二種類の大変に異質な演劇体験があります。先ず一九四五六年敗戦後の中国での歩兵部隊における「軍隊演劇」の体験があり、次に一九四七年から現在にいたる「都市演劇」の体験があります。

今その詳細にふることはできませんが、この「軍隊演劇」は多くの兵士たちを戦地から故郷に復員させるための心の準備をするうながす演劇でした。そして後の「都市演劇」の方は、長期にわたりますから状況の変動に対応してその志向が推移してきましたところがありますが、今わりと強く云えるのは、都市生活がもたらす避けがたい圧迫の中、傷つき病むたちのが心を癒すこと、そういう役割が演劇に課せられつつあるのです。ないかということです。

この二体験が演劇にかかる事柄を考える場合の私の土台となつていい

もちろんこの言葉の内部には、アマチュア演劇・公共演劇・地域演劇・サーカス演劇などの名称をつくりあげた考え方も含まれていますしそれは大事にしたいことです。  
ところで「市民演劇」の主体となる者たちが演劇することの源泉となるのは、エネルギーを汲みあげてくるのではなく、市民生活とそういう日常的現実とそこに衝撃をぶつけたる社会的変動との二つの側面をもつてゐるからです。私たち側はその波動をヴィヴィットに受止め、演劇をすることの新しいカラダ・カンセイ・イメージ・リズム・コウゼウなどを自分たちのものにしてまいります。  
このよくなプロセスをへて生みだされた「市民演劇」であるからこそ、単なる娯楽には終らない、もつと市民の心の深部にかかわる仕事として、その心を開き、樂しませ、慰さめ、もしかしたら都市の重圧に痛みつけられた人々の心の癒しとなるところまで演劇を昇華させるということも為し得るのではないしょうか? これは幻想にすぎないかも知れません。つまり、つまでも持ち続けたい想いです。

つて、『ます。そのような私にとつて  
いふん望ましい呼び方が、『市民演劇』  
なのです。そこで実体をどうやつてさぐるの  
か?』ということになりますが、一つは、  
次のような三つの条件に照し合  
わしてみると必要です。  
三つの条件とは、『場』と『主体』  
と『時代』のことです。  
例えば、麦の会の場合、私たちが生  
きているのは横浜と名付けられた大生  
都市であり、次に麦の会をになう主  
体は、(作る側・見る側)共に都市の  
住民である『市民』です。そして時  
代は、まぎれもなく90年代と呼ばれる  
現代です。  
以上三条件をみたすかたちで私た  
ちが提示できるのは、『現代の大都市  
横浜で生活する市民が演じ見る演劇』  
要約すれば、『市民演劇』ということ  
になります。



麦の会 「蜂の巣」 6月8日9日  
関内小ホール

麦の会公演『蜂の巣』を観る。作者は若手のホープTAKEHIRO氏だ。映画『明日に向って撃て』からのモチーフか。「男の芝居を書きたかった」(公演パンフ)とのこと。成程、硬派の男性イメージがしっかりと構築されている。台本の骨格もしっかりしている。強盗を働くいた男たちのドラマを縦軸に進行させ、〈黒い影〉を横軸に象徴的に入れる所など、単なる筋ものにならず成功していると思う。象徴的といえば、ドアを真中に配した舞台セットも、それが、成功と絶望の或いは生と死の、その他諸々の二面性の出入口を雄弁に表わしていて、面白い。

気になった点はやはり「女」か。「男」の芝居を描くということは、「女」をどう扱うかということだろう。その所は少し難駁だった。それと、山口君の演技。この劇場では細か過ぎて却って伝わって来ない。小劇場の真近で観れたら良かったのに、と思った。

(担当 劇★派事△所)



京浜協同劇団

# 「父が帰る家」

「新しい稽古場完成」の話を聞いて、以前から是非一度覗いてみたいと思っていたが、今回幸いにもその機会に恵まれた。稽古場自体が地域に馴染んでいる為か、不思議と客席が広いだ雲囲気だった様に感じられた。

公演は、妻子を捨てた男が28年ぶりに年老いて戻って来たが、半身不随の上に無一文。70才を過ぎた妻が様々な葛藤の末、最終的には、その夫を受け入れるのだが……。果たして彼女にとって、それが最良の選択であったか否か。という想いが、観た側には最後まで残される。夫の裏切りを許す、許さないという問題もさながら、体に障害のある家族を支える事の重大さ。これからの中高齢化社会に向けて増え身近になってくる作品だと思う。

又、稽古場の下階に今回の内容に関連した老人養護のパネル展示等があり、芝居を観るに当って、更なる効果をあげている様に思った。地域に根ざした稽古場から、今後も素晴らしい作品が生まれ出される事を期待している。

(担当 劇団葡萄座)

# は 考 え ま す

# 市 民 劇 団 と は



# 劇団こゆるぎ座

後藤翔如

そしてこの条件を維持することの困難さは、同好の方々の充分ご承知のことと思われます。正直思つて市民劇団と呼ばれるのもウレシイやらカッタリいやらで、「演るぞ」という意欲が「演らなければならぬ」義務感に傾くのは否めません。それでも結局「演つてしまふうの」は市民「今年期はなにを演るの」というのが市民の期待となり、芝居が好きだから」と以外の何物でもなく、これほんとのアマチュアアリズム。



横濱にゆうくりあ

# 「モノローグの 可能性」

自作自演による演  
12本のモノローグ  
6月29日30日  
野毛山フラスコ

「(にゅうくりあの) 原点とも云うべき実験的手法に  
たちかえっての挑戦舞台」(チラシ)を見る。

予定を30分超える4時間半の舞台は、正直疲れたが、演技者の熱意と意欲は気持ちよかつた。

全体として自己の内面を見つめ、他者との軋轢を独り語り又は第3者に語りかける手法で演じられた。

個人的には、奈須由紀江のペコチャyanに題材を得た構成と演技、斎藤礼子の無言のトップシーンからの展開と構成、いざみやひとみの人の裏側と街の息吹を感じさせる演技世界など楽しい舞台であつた。

一人変わつた世界を見てくれたのが吉浜直樹で、ちょっと落語もどきのストーリーに込められた法社会の矛盾点は、共感するものがあつた。

云ふが眉間に一々思ひもせぬつらうに。  
あえて一言、モノローグ12本はやっぱりかつたるか  
つたです。 (劇団東の会)

(劇団麦の会)

## ■「市民劇団」ということ

「来年もまた観にゆくよ」と、市民に  
言われるよう、ここ数年は小田原を  
題材とした舞台を発表しつづけてお  
ります。さいわい好評で、と言つて  
観客に迎合するのではなく、客席と  
一緒に郷土の歴史を理解し、なお一  
流の感動を与えられたらと奮闘して  
おります。

なにしろ毎回三十八近い登場人物  
ですので、脚本の内容、舞台装置の  
転換に呻吟するのが常で、座員共々  
鳩首にて、しかし談論風発のうちに  
仕上げてゆきます。職業のかたわら  
の活動ですので、生活に支障をきた  
すほどの苦渋と困難は避けておりま  
す。

先般、プロとアマの演劇意識の差  
が論ぜられておりましたが、どんな  
に拙い作品であれ演技であれそれで  
飯を喰つているのがプロで、プロで  
凌駕する技術をいかに擁していよう  
とも手弁当で参加しているのがアマ  
であります。それ以外の論点はありません。  
活動の持続性とある程度の技量水  
準、演目の面白さが、市民劇団と呼  
ばれる条件のような気がしておりま



プロジェクト夢樹「モンタージュ」  
7月13日14日  
横須賀青少年会館

7月13日14日  
横須賀青少年会館

老姿二人のとつとつとした芝居で幕が開く。若い俳優が老姿を演じている。このまま続くと少々つらい。ところが舞台は一転。はつらつとした少女たちの時代に変わる。たった二人だけの長い芝居である。誰しもが通り過ぎたはずの少年や、少女の時代の懐かしいページが見事によみがえってくる。暗くなるまで掛けりをしたり、宝物のみせっこをしたり、初恋に胸が高鳴ったり、そして友との別れと約束。心のモノローグといって良いのだろう。俳優の行動に切れ目のないリアリティが生じて、観る側の心に無理なく伝わる情景は懐かしくして美しい。残念なのは、何役もこなすとき、パターンとして演じてしまう役づくりが気にかかる。しかし、それを差し引いても見入ってしまう舞台に仕上げたのは終演時の観客の拍手に充分現れていた。

「プロジェクト夢樹」として新制スタートした劇団のこれからが楽しみ。しかし、これだけの舞台を作りながらも観客が少なすぎる。とても残念な思いがする。  
(担当 劇団川崎演劇塾)



葡萄座 「ラン・フォー・ユア・ワイフ」  
6月29日30日  
教育文化ホール

葡萄座が創立50周年記念公演の一つとしてこの作品を取り上げた勇気に敬意を表します。当世はやりのズッコケやシャレだけで笑わせる芝居とは違い、登場人物とその行動をきちんと把えて表現することで、置かれている状況のズレをカバーしようとする必死の行動が、かえって観客の笑いを生み出すという、本来の「喜劇」に真正面から取り組み、多少ぎこちない所があったとはい、充分に観客を楽しませた。

主人公スマスの大奮斗は、のっぴきならない状況を一時的にはしのぎながらも、やがては自ら壊った墓穴に落ち込まざるを得ない状況を、おかしくみせてくれたし、二人の妻やからみの登場人物も配役の妙をみせてくれました。ペテランに混って良いキャラクターを持った新人の登場も嬉しい限りです。欲を言えば、メアリーの衣裳にもう一工夫ほしかったことと、スマスの鼻の通りが悪いのが気になりました。

(横浜小劇場)



蒼生樹 「逞しき女々」  
7月19日～21日  
教育文化ホール

いつもながらの蒼生樹の味のある芝居、というのが見終ったあとの感想。いつもながらの個性的メンバーが主であったこともあり、演技も達者でそつなく、セリフも間のとり方も相変わらず手慣れたもので、楽しく観させて貰った「逞しき女々」であった。

ただちょっとひっかかったのは、面白かった。楽しかったのは全くそのとおりなのだが、そのなかでもひとつ物足りない感じが残ったことであった。作品からなのか、舞台の創り方からなのかは分からぬが、多分これは居酒屋の女将が中心となって現代下町の元気ある女性達が描かれてはいるが、その生活があまり見えなかったからではないかと——。女将『なつ』さんも人の好いおばあちゃんとしては好演だったが、居酒屋を営んでいる生活がもっと見え、フィリピン人マリアのことなどの現実感が、その他の女性達を含み、と湧出されたならば、物足りない感じなどどこかにふっとんでしまったに違いない。

(担当 劇団かに座)

## 理事会報告 劇団かに座 田辺晴通

みんな機関誌を見ていますか、理事会報告を読んでいますか。各団体の幹部が神奈川の演劇のため連帯感を高めつつ行動を起こしているので十分に読まれることを期待し、8月5日開催した理事会の概要を報告します。

### I、県知事あて要望事項最終案の決定について

今回は、この最終案の検討と決定が主議題であり、標題を「平成8年・演劇文化振興に関する要望書」として、要望項目は次のとおり。

① 横須賀青少年会館存続問題～足柄地区でも青少年会館存続についての署名運動がなされ県知事あて要望がなされたとの記事があったが、(紅ヶ丘をはじめ他会館設置地域でも存続運動が行われている)こと横須賀だけの問題でない認識を。なお横須賀だけをとりあげれば8月中には市移管の結論が出ることであった。②県演劇フェスティバル助成金の増額～マイナスシーリングの標的は我々のようなどころから始まる。演劇組織の強化を図るためにも今以上の後退があってはならないので、500万の増額要望をしたこと。(平成7年から120万(それまでは150万)となっている。毎年の要望事項である。)③ 県演劇連盟40周年記念公演のための予算化～県から合同公演の要望がなされていることに関して、平成12年には県演連も40周年を迎えるので、これを機に計画することを申し述べ、伴う1200万の予算化を要望。(9月から始まる(また)県文化財団の演劇等のワークショップの予算が3000万ダントー)④紅葉ヶ丘再開発についての要望～前回も述べたが、現在は凍結の状態のことだが計画が進行する際には①②ホールの設置及び小劇場の併設④再開発検討委員会等に県演連代表者を委員として参加させることを要望。⑤ 神奈川県が募集する脚本コンクールについて～受賞作品の上演に対しては上演委託料が予算化されていたが予算削減のあまりを受けて本年は予算ナシとなった(蒼生樹上演には別途予算科目から一部はフォローされたが)ことについて復活の要請。⑥ 民間施設の利用に補助を～県演連加盟団体が多く使用する相鉄本多劇場について検討を要望。

要望事項は以上のとおりであるが、本要望書については8月13日、飯田理事長ほか4名が県文化室に赴き提出した。又機会を見つけて文化室長との懇談も約した。

2、本年度神奈川県演劇フェスティバル参加団体と演目・日時・会場の確認。  
3、「ドラマ神奈川・テント劇場ラリー」について。

4、「三浦半島演劇祭」について

上記2～3議題についてはそれぞれ別掲又は報告される筈なので省略するが、テント劇場ラリーは、MM21地区にテント小屋を建てての、10月1日から11月15日までの間催される「アートライブよこはま」の一環として催すもので、県演連プロデュース公演もあるので各位の積極的協力をお願いしたい。3公演共通券も発行されることになっている。

このほか、「ドラマ神奈川」8号について「'96横浜演劇展」(9月25日～9月30日、シアトルフォンテ)等について話し合いがなされた。

以上



川崎演劇塾 「ラブソング・恋歌がきこえる」  
8月2日～4日  
ひとみ座  
スタジオ

カッチリとした新劇の色調濃く、ストーリーも解り易いものでした。それだけに軸となっている三人の登場人物の心の動きが大切に描かれていたと感じました。

後半、ウエットすぎるのでは?と感じた部分もありましたが、今の時代なんとなくカッショ良くて気よくという芝居の多い中で、本気で、全力で精いっぱいの芝居を観せて頂きとても清々しい気になりました。

一番印象的だったのは、お客様がとても自然に芝居を楽しんでいた事です。何かを食べるシーンでは「あら美味しい!」と声がしたり、登場人物が死んでしまうシーンでは、あちこちで「死んじゃったの?」ときさやく声がし、声を出して笑い、そして泣き。ふと大衆演劇という言葉を思い出しうれしくなりました。(にゅうくりあ担当)

### 訂正

7号、G/9プロジェクトの「がつん」は「MOON」の誤りです

## 編集後記

苦手な夏が終りこれからは芸術の秋…etc やりたいこともやらなければいけないことも山積みです。とにかく頑張れ!!と自分に言う毎日です。 葡萄・太

編集に要望を!記事に意見を!読者の皆様お寄せ下さい。しかし、色々な劇団と交換できるようになったのは嬉しい。

演劇塾・田